

愛知大学同窓会奨励賞授与式



◆ 課外活動奨励賞並びに同窓会奨励賞授与式プログラム ◆

1. 開式 (11 時 30 分)
2. 愛知大学後援会長あいさつ
3. 愛知大学経済学部長 (後援会担当) あいさつ
4. 課外活動奨励賞選考結果の報告
5. 課外活動奨励賞授与
6. 同窓会奨励賞選考結果の報告 (広報委員長)
7. 同窓会奨励賞授与
8. 愛知大学長激励の辞
9. 愛知大学同窓会長激励の辞
10. 受賞者代表謝辞
11. 閉会 (13 時 00 分)
12. 激励パーティー (逍遙館)

主催：愛知大学同窓会

第1回 愛知大学同窓会奨励賞 受賞者プロフィール

◇ 最優秀奨励賞…3名

● 服部 美恵子



* 略歴 *

- 1971年 文学部文学科卒業
 - 1992年 長男剛丈さんが留学先のルイジアナ州バトンルーージュ市にて16歳で射殺される
 - 1992年10月 「アメリカの家庭から銃の撤去を求める請願」を始める
 - 1993年11月 クリントン前大統領に日米の署名195万人分を手渡す
署名はアメリカ初の連邦法「ブレディ」法成立に大きく寄与
 - 1994年3月 剛丈さんの生命保険金で「YOSHI 基金」を設立
この年「日本ルイジアナ友好基金」も日米の酒造会社により設立され、理事メンバーとなって協力
 - 1994年 民事裁判の賠償金で「Yoshi's Gift 賞」基金を設立し、米国の銃規制団体を支援
 - 1995年 所属する「YOSHI の会」が銃による人権侵害根絶活動への寄与で名古屋弁護士会より「人権賞」を受賞
 - 2000年 愛知大学の協力で「Yoshi's Gift 賞」基金支援イベントを主催
 - 2002年 AFSより異文化理解への寄与によりガラッティ賞を受賞
- 現在、「YOSHI 基金」、「日本ルイジアナ友好基金」、「Yoshi's Gift 賞基金」を充実させるべく活動中
著書に『海をこえて銃をこえて』（坂東弘美共著）がある

● 齋藤 真裕



* 略歴 *

- 1997年3月 浜松日体高等学校卒業。応援団長として活躍
 - 1998年4月 経済学部経済学科入学。愛知大学応援団入団
 - 2002年3月 愛知大学応援団卒団
- ※ 愛知大学応援団第51代団長として活躍

● 北原 源一



* 略歴 *

- 1997年3月 長野県立伊那弥生ヶ丘高等学校卒業
 - 1998年4月 経済学部経済学科入学。愛知大学応援団入団
 - 2000年11月 体育会会長就任
 - 2002年11月 体育会会長辞任
 - 2002年3月 愛知大学応援団卒団
- ※ 愛知大学応援団第51代副団長として活躍

◇ 優秀奨励賞… 2 名

● 越知 専



* 略歴 *

1953 年 3 月 法経学部経済学科卒業
1954 年 3 月 理容業開業、有限会社エキマエ越知代表取締役就任（現）
1988 年 美容業併設
1972 年 4 月 有限会社オーエムシー代表取締役就任（現）
1990 年 11 月 豊橋駅南地区再開発準備委員会会長就任（現）
1997 年 3 月 愛知大学創立 50 周年『創設期からの写真文集』編集著発刊
1998 年 7 月 愛知大学早友会会長就任。2000 年 5 月より同顧問就任（現）
2000 年 4 月 東松照明写真展（豊橋市美術博物館）代表世話人
2001 年 5 月 愛知大学写真研究会名誉会長就任（現）
2001 年 8 月 紺綬褒章受章
2002 年 6 月 アフガニスタン支援東松照明写真展（豊橋丸栄）代表世話人

● 立木 一成



* 略歴 *

1948 年 3 月 愛知県立明倫中学（旧制）卒業
1948 年 4 月 愛知大学予科入学
1953 年 3 月 法経学部経済学科卒業
1953 年 4 月 株式会社 丸栄 入社
1985 年 5 月 株式会社 丸栄 取締役就任
1989 年 5 月 株式会社 丸栄 常任監査役就任
1991 年 5 月 株式会社 栄町ビル 常任監査役就任
1993 年 5 月 株式会社 栄町ビル 退社
1993 年 6 月 有限会社 立木建物管理（自営）代表取締役就任
2002 年 6 月 アフガニスタン支援東松照明写真展（名古屋丸栄）代表世話人

◇ 奨励賞… 1 名

● 磯貝 治良



* 略歴 *

1937 年 愛知県半田市に生れる
1960 年 法経学部経済学科卒業
1960 年以降 建材会社社員、出版編集者、新聞記者、大学講師他の仕事に就きながら、小説、文芸評論、ノンフィクションなどを書きつづける
現在、新日本文学会会員、金城学院大学非常勤講師（マイノリティ研究を担当）、在日朝鮮人文学を読む会主催、文芸誌『架橋』発行人、NPO 法人三千里鐵道副理事長などを努める
主な著書に『始源の光－在日朝鮮人文学論』（創樹社）、『戦後日本文学のなかの朝鮮韓国』（大和書房）、小説集『イルボネチャンビョク－日本の壁』（風琳堂）、長編小説『在日疾風純情伝』（風琳堂）などがある

◆ 愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要領 ◆

（目 的）

1. 本取扱要領は、本会会員（滬友会、推薦交友を含む。）並に愛知大学関係者（教職員、在学生等）が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、本会又は大学の榮譽を高め、かつその分野の発展に寄与した個人又は団体に対し、その労をねぎらうため、愛知大学同窓会（以下同窓会という。）が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

（表 彰）

2. 表彰は、会員から推薦のあった個人及び団体に対し、選考結果、個人にあっては表彰状並びに副賞（記念品）、団体にあっては表彰状並びに副賞（奨励金）を授与する。

（推 薦）

3. 候補者の推薦（自薦を含む）は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書（800字程度）を同窓会会長宛に提出する。但し、叙勲及び功労賞等の授賞者は対象から除くものとする。

（選 考）

4. 会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

（表彰の種類）

5. 表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

A 最優秀奨励賞（全国レベルでの活躍）

個 人……記念品

団 体……奨励金 10万円

B 優秀奨励賞（地域レベルでの活躍）

個 人……記念品

団 体……奨励金 5万円

C 奨励賞（一般的な活躍）

個 人……記念品

団 体……奨励金 3万円